



FUKUOKA PREFECTURAL
UNIVERSITY

福岡県立大学 附属研究所

2021. 10

生涯福祉研究センター

事業報告書

2020（令和2）年度

福岡県立大学 附属研究所

目 次

I 地域支援事業部門

1. お父さん・お母さんの学習室（ペアレントトレーニング） 1
2. おもちゃとしょかん・たがわ 2

II 教育研修事業部門

1. ペアレントトレーニングを応用した特別支援教育スキルアッププログラム 5

I 地域支援事業部門

1. お父さん・お母さんの学習室（ペアレントトレーニング）

①事業組織

事業代表者 小山憲一郎（人間社会学部 講師）
事業分担者 吉岡和子（人間社会学部 教授）
池 志保（人間社会学部 准教授）
中藤広美（人間社会学部 助教）

②事業資金：学生教育費 大学院 心理臨床専攻

*「ペアレントトレーニング事業：心理教育相談室」運営費（551,000 円）

*特別支援教育スキルアッププログラムと共通経費

③主催団体・共催団体

主催：福岡県立大学心理教育相談室
福岡県立大学附属研究所 生涯福祉研究センター

④事業の目的

この学習室の目的は、ご家庭で子どもにどのようにしたらうまく生活技能を教えることができるか、子どもの困った行動をどのようにしたら少なくすることができるか、などを保護者の方々に学んでいただくことにある。

ペアレントトレーニング（親訓練）とは、発達の遅れのある子どもを直接トレーニングするのではなく、毎日子育てを行っている親の方を 3 ヶ月間でトレーニングしようという考え方である。その方が直接子どもをトレーニングするよりも、その後の経過が良好だと言われている。われわれは 1999 年から、「お父さんとお母さんの学習室（ペアレントトレーニング）」を実施してきている。

本事業の目的は、ペアレントトレーニングに参加する親に、子どもの行動と自分の行動を観察・記録するスキルを修得してもらうことで、子どもへの対応の改善と、子どもの行動の改善をめざすことである。

そこでは、子どもの行動についてできるようになってほしい行動とやめてほしい行動をあげてもらい、そこから子どもと親の行動をさまざまな側面から観察・記録してもらうことで、そこに支援の手がかりを見つけようとする試みを行ってきた。さらに、個別に面接を行うことでより介入的な支援も試みてきた。

その結果、多くの親がその改善に満足し、多くの手応えをつかんでペアレントトレーニングプログラムを終えていった。そこで親が身につけたものは、行動の観察・記録の仕方、困った行動への対処の仕方、子どもの行動のほめ方、子どもができないときの手がかりの与え方、子どものまわりの環境の整え方である。

ペアレントトレーニングプログラムを終えた親からのコメントには、「こんなことを言っても通じないだろうと思っていたが、やり方を変えるとこんなに通じやすいのかと驚いた」、「こんなにちょっとした工夫だけで子どもの行動が変わっていくのに驚いた」、「子どもに強化子を与えるのは動物の調教みたいでいやだったけど、実際に子どもが変わっていくのがわかり、無理なく子どもと接していけることに驚いた」、「子どもは、強化子のために行動しているというより、やはり親の自分との関わりを求めているのだなと思った」、「子どもと一緒にいることが前より楽しくなった」といったものがあげられた。それにともない親の抑うつ度やストレス度も下がっていった。

⑤事業の内容

対象：発達に遅れのある子どもを持つ保護者の方

子どもの年齢は、およそ3歳から10歳頃まで

期間：春季クラス、3ヶ月フォロー、6ヶ月フォロー

秋季クラス、3ヶ月フォロー、6ヶ月フォロー

24回開催

⑥参加人数 のべ72名

2. おもちゃとしょかん・たがわ

①事業組織

事業代表者：中藤広美（人間社会学部 助教）

②事業資金

福岡県立大学附属研究所費（2020年度）

項目：附属研究所費 「生涯福祉研究センター管理運営費」

参加者実費負担 特になし

③主催団体・共催団体

主催：福岡県立大学附属研究所 生涯福祉研究センター

④事業の目的

- 1) 玩具を図書館形式で貸し出したり親子が交流の場として利用したりすることによって、発達の援助や子育て支援をおこなう。
- 2) 利用対象を未就学児童親子全般とし、小さな子ども達が安心して遊べる空間を提供しながら、おもちゃの貸し出しや、遊び方のモデル提示をするなどして発達の援助を行う。

- 3) 保護者から寄せられた相談に応じ、さらに必要な場合には、本学の親訓練プログラムの説明・案内及び関連諸機関を紹介し、発達障害児の療育支援を行う。
- 4) お父さんとお母さんの学習室（ペアレントトレーニング）修了者のフォローアップの場として位置づけ、その後の取組み内容などへの相談に応じたり、具体的な取組みのアドバイスを行ったりする。

⑤事業の内容

1. 主な活動内容：おもちゃの貸し出し、遊び場の提供
2. おもちゃ貸出日：第1、3火曜日 13:30～16:00、第3土曜日 13:00～15:00
(第3土曜日は、発達が気になるお子さんとその家族のみ)
3. 利用対象者：発達が気になるお子さんやその家族、および乳幼児とその家族
4. 貸出の手続
 - ① 申し込み票を提出し利用者カードを作成する
 - ② 貸出期間は1ヵ月
 - ③ 貸出個数 絵本5冊 おもちゃ1点
5. 貸出対象者
発達が気になるお子さんとその兄弟・家族、乳幼児、児童教育関係機関、地域の子育て団体など
6. 2020年度（令和2年度）は新型コロナウイルス感染症予防のため休館とした。

ご挨拶

生涯福祉研究センター閉所に伴い、おもちゃとしゃかん・たがわは2021年3月末をもって閉館しました。

2001（平成13）年5月に開館したおもちゃとしゃかん・たがわはこれまでに410組の親子（未就学児や発達が気になるお子さん）の利用登録があり、のべ2357人の利用がありました。そして3105点のおもちゃ達をご家庭に借りていかれ、子どもたちは楽しく遊んでくれたことでしょう。

子ども達は、おもちゃとしゃかんで楽しく遊んだり、おもちゃの奪い合いをしてケンカをしたりして、開館日は賑やかな笑い声と温かいまなざしに包まれていました。学生ボランティアグループOTTとをはじめとするスタッフ一同、多くの利用者の皆さんと出会って深い学びをさせていただき感謝しています。ありがとうございます。

これからも子どもたちそしてご家族皆様の健やかなる暮らしを陰ながら応援します。

アクセス地図

東大橋 トライアル 田川店 福岡県立大学 おもちゃとしゃかんたがわ 伊田小 鉄砲町 田川土木事務所 伊田大塚 伊田本町バス停 日田彦山線 南大通りバス停 伊田本町バス停 新橋 日の出町 JR田川伊田駅 彦山川 湯田美産山

福岡 R201 北九州

R322 東郷バス停

おもちやとしょかん たがわのご案内

車は、生涯福祉センターの庭に駐車してください。

開館日
第1、3水曜 13:30~16:00
(対象：発達が気になるお子さんや乳幼児)
第2土曜 13:00~15:00
(対象：発達が気になるお子さんのみ)
上記が祭日や入学試験等と重なった場合は休館日とさせていただきます。

〒825-8585
福岡県田川市伊田 4395
福岡県立大学附属研究所生涯福祉センター内
おもちゃとしょかん たがわ
TEL 0947-42-2119
<http://www.fukuoka-pu.ac.jp/>
メニュー：附属研究所→生涯福祉研究センター→地域の方へ

おもちゃとしょかん たがわパンフレット 表面

おもちゃとしょかん たがわの紹介

《おもちゃとしょかん たがわ》は、発達が気になるお子さん、乳幼児、児童教育関係機関等を対象に、おもちゃの貸出や遊びの場の提供を行っています。事業主催は福岡県立大学附属研究所生涯福祉センターで、その運営は本学学生連を中心としたボランティアグループに支えられておこなっています。

「おもちゃとしょかん たがわ」ってなに？

おもちゃをとおして…

1. 子どもの発達促進のお手伝い。
2. 発達が気になるお子さん、乳幼児とその保護者に交流の場を提供。
3. 児童教育関係機関へのおもちゃの貸出しと連携。
4. おもちゃと遊びの研究と応用。

★おもちゃとしょかん利用のお約束★

★貸出の手続きは？

1. 申し込み票を提出する。
2. 利用者カードを作ってもらおう。
3. 貸出期間は1ヵ月。
4. 貸出回数 絵本5冊 おもちゃ1点。

★貸出対象者

発達が気になるお子さんとその兄弟・家族、乳幼児、児童教育関係機関、地域の子育て団体などです。

★利用料金

無料

★図書館に来たら…

展示しているおもちゃで自由に遊んでください。ただし、ご自分のお子さんから目を離さないようお願いいたします。

★おもちゃの破損について

貸し出す時に破損の有無などの確認をスタッフとしましょう。借りて帰っている時に壊れたりしたら、スタッフに教えて下さいね。かたらのある物は壊れます。でも、みんなができるだけ長く遊べるように大事に使おうね。

★お子さんのことについて相談したい場合は…

貸出日には、本学教員や保育の専門家がいるのでご相談下さい。

★利用上のマナー等について

- ・おもちゃは大切に扱きましょう。
- ・返却期間を守って下さいね。
- ・おもちゃは、部品がちゃんと揃っているか必ず確かめ、きれいに拭くなどして返して下さいね。
- ・遊んだおもちゃは、お子さんと一緒に元の位置に戻しましょう。
- ・館内での飲食はしないようにしましょう。
- ・万一怪我をした場合、責任を負いかねますのでご承知おきください。

おもちゃとしょかん たがわパンフレット 裏面

このパンフレットは本学学生ボランティアによる手作りです。

Ⅱ 教育研修事業部門

1.ペアレントトレーニングを応用した特別支援教育スキルアッププログラム

①事業組織

事業代表者 小山憲一郎（人間社会学部 講師）
事業分担者 福田恭介（人間社会学部 特任教授）
中藤広美（人間社会学部 助教）

②事業資金：学生教育費 大学院 心理臨床専攻

項目：＊「ペアレントトレーニング事業」運営費（551,000 円）

＊お父さんとお母さんの学習室（ペアレントトレーニング）と共通経費

参加者実費負担	1 部、2 部とも受講者	1 人あたり 5,000 円
	1 部のみ受講者	1 人あたり 3,000 円

③主催団体・共催団体

主催：福岡県立大学心理教育相談室 生涯福祉研究センター、

④事業の目的

子どもの問題行動を考える場合、それを無理してやめさせるよりは、それに代わる適切な行動を身につけさせるように支援していくことがより効果的だと言われている。これまでわれわれは、ペアレントトレーニングに取り組み、子どもの問題行動の改善を目指して保護者とともに取り組んできた。そこでは、一番改善したい行動を具体的に決め、その行動を観察・記録していくことで、対応策を考えていく。このようなペアレントトレーニングの取り組みは、保育・教育現場における特別支援教育にも応用可能だと考え、これまで蓄積してきた多くの対応策を教師や保育士とともに共有することでスキルアップしていくことを目指した。

⑤事業の内容

2020 年度（令和 2 年度）は新型コロナウイルス感染症予防のため開催せず。

編集委員

中藤広美（人間社会学部 助教／附属研究所 生涯福祉研究センター 専任研究員）
住友雄資（人間社会学部 教授／附属研究所 生涯福祉研究センター長）

福岡県立大学 附属研究所
生涯福祉研究センター事業報告書 2020年（令和2）年度

2021年9月30日 発行

編集・発行：福岡県立大学 附属研究所
〒825-8585 福岡県田川市伊田 4395
Tel:0947-42-2118 Fax:0947-42-6171
<http://www.fukuoka-pu.ac.jp/research/index.html>

作 製：ヨシミ工産株式会社
〒804-0094 福岡県北九州市戸畑区天神 1丁目 13番 5号
Tel:093-882-1661 Fax:093-881-8467
<http://www.e-yoshimi.jp/>
